

3. 3 会員企業の活動事例

各地の建設業協会の会員企業は、地域の安全・安心確保を最優先に考えて、災害時には先頭に立って復旧活動に従事するとともに、地域活性化の取組、環境美化・保全活動、社会福祉活動、建設業ふれあい活動などにも積極的に取り組んでいます。これらの活動は、地元企業ならではの工夫により、住民にもたいへん喜ばれています。

令和元年度に顕彰した会員企業のこうした活動事例の中から、3. 1で紹介した代表事例のほか、ここでは次の21事例を紹介します。

No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-01	北海道	盛興建設(株)	平成30年北海道胆振東部地震における被災地へのランドリーの設置
B1-02	福井県	坂川建設(株)	台風21号により浸水した関西国際空港における災害復旧支援活動
B1-03	兵庫県	(株)川嶋建設	台風21号により浸水した関西国際空港における災害復旧支援活動
B1-04	兵庫県	金下建設(株)	平成30年7月豪雨における災害復旧支援活動
B1-05	兵庫県	(株)平野組	平成30年7月豪雨及び台風21号における災害復旧支援活動
B1-06	和歌山県	(株)藤平組・(株)谷川組・(有)小阪組・(株)中井組	台風21号により浸水した関西国際空港における災害復旧支援活動
B2-01	島根県	(株)トガノ建設	スポーツイベント等を通じた健康増進・青少年健全育成活動
B3-01	青森県	(株)田中組	道路・河川の清掃美化活動
B3-02	宮城県	河北建設(株)	道路の清掃美化活動
B3-03	福島県	矢祭建設(株)	道路・河川の清掃美化活動
B3-04	三重県	丸亀産業(株)	河川の清掃美化活動
B4-01	北海道	(株)田中組	日本赤十字社献血活動への協力
B4-02	福島県	川名建設工業(株)	日本赤十字社献血活動への協力
B4-03	福島県	王子建設(株)	地元小学校の清掃・点検及び奨学資金給与基金への寄付活動
B4-04	長崎県	吉川建設(株)	日本赤十字社献血活動への協力
B5-01	福島県	久米工業(株)	保育園で園児らとともに花植え活動
B5-02	静岡県	平和建設(株)	親子現場見学会の開催
B5-03	愛知県	(株)加藤建設	「かにえ町民まつり」での建設機械試乗体験の実施
B6-01	北海道	道路工業(株)	道路の大切さを伝える絵本「こうたのあたらしいちず」の制作・贈呈
B6-02	青森県	附田建設(株)	高校生を対象とした現場見学会の開催
B6-04	愛知県	矢作建設工業(株)	小冊子の制作と現場見学会等の開催

(1) 災害復旧支援活動

事例 B1-01 : 北海道

平成 30 年北海道胆振東部地震における被災地へのランドリーの設置 (盛興建設(株))

平成 30 年 9 月 6 日、北海道胆振東部地震が発生し、厚真町では電気や水道などのライフラインが寸断され、人々の生活は大きな打撃を受けた。

苫小牧市の盛興建設(株)は、断水で洗濯ができない厚真町民のために、地震発生直後の 9 月 10 日～10 月 14 日の間、町内 2 ヶ所(新町地区、厚南地区)に仮設の無料ランドリーを設置した。ランドリーは、1 ヶ所につきプレハブ 2 棟(中に洗濯機 10 台)、貯水タンク、発電機(停電復旧後は撤去)等で構成され、同社社員が浄水場とランドリーの間を給水車で往復して水を継続供給した。社員には、利用した町民から感謝の言葉が多く寄せられた。



仮設無料ランドリー (新町地区)



仮設ランドリーの利用状況

事例 B1-02 : 福井県

台風 21 号により浸水した関西国際空港における災害復旧支援活動 (坂川建設(株))

平成 30 年 9 月 4 日、台風 21 号の影響で、関西国際空港は大きな浸水被害を受けた。

福井市の坂川建設(株)は、近畿地方整備局からの支援要請により、福井河川国道事務所が所有する排水ポンプ車 2 台を現地に搬送し、9 月 5 日～10 日の間、大型ポンプによる滑走路の排水作業に従事した。排水は昼夜連続となるため、2 班体制で臨んだが、連絡橋が損傷して空港への出入りが制限されたため、社員は飲食物持込みで 24 時間連続勤務後に交替する厳しい状況の中で、懸命に作業を行った。

この支援活動に対し、平成 31 年 1 月、近畿地方整備局より感謝状が贈られた。



滑走路の排水管設置



大型ポンプによる排水

事例 B1-03 : 兵庫県

台風 21 号により浸水した関西国際空港における災害復旧支援活動（(株)川嶋建設）

平成 30 年 9 月 4 日、台風 21 号の影響で、関西国際空港は大きな浸水被害を受けた。

豊岡市の(株)川嶋建設は、翌 5 日朝、豊岡河川国道事務所からの緊急出動要請を受け、排水ポンプ車 1 台、連絡待機車両 2 台、指揮者・作業員 6 人で現地に向かった。同日夕方には到着し、直ちに空港の第 1 排水区（空港南東部浸水箇所）で作業を開始した。

作業は昼夜連続で行い、5 日間で約 66,500 m³（全排水量の約 18%）を排水し、空港機能の早期回復に貢献した。

この支援活動に対し、平成 31 年 1 月、近畿地方整備局より感謝状が贈られた。



滑走路からの排水管の設置

事例 B1-04 : 兵庫県

平成 30 年 7 月豪雨における災害復旧支援活動（金下建設(株)）

金下建設(株)は、平成 30 年 7 月、豊岡河川国道事務所からの要請で、西日本豪雨により浸水被害のあった岡山県倉敷市真備町において、7 月 16 日～30 日の間、被災地周辺道路の砂塵抑制を目的とした散水車による散水・清掃作業を行った。

この支援活動に対し、平成 31 年 1 月、近畿地方整備局より感謝状が贈られた。

ボランティア活動に積極的な同社は、会社が保有する様々な重機を生かして、災害復旧等の支援活動に加わるほか、地元における山陰海岸ジオパーク等の清掃活動にも多くの人員を参加させるなど、機動力を発揮した活動で地域に貢献している。



倉敷市真備町における散水・清掃

事例 B1-05 : 兵庫県

平成 30 年 7 月豪雨及び台風 21 号における災害復旧支援活動 ((株)平野組)

(株)平野組は、平成 30 年 7 月、姫路河川国道事務所からの派遣要請を受け、西日本豪雨で被害を受けた愛媛県宇和島市に散水車で赴き、7 月 15 日～22 日の間、大浦地区、喜佐方地区、吉田地区において、砂塵抑制のための散水作業及び路面清掃等を行った。

また、同年 9 月には、台風 21 号により大きな浸水被害を受けた関西国際空港において、滑走路の散水作業及び路面清掃を行い、滑走路の復旧に尽力した。

これらの支援活動に対し、平成 31 年 1 月、近畿地方整備局より感謝状が贈られた。



宇和島市吉田地区での路面清掃



関西国際空港滑走路での路面清掃

事例 B1-06 : 和歌山県

台風 21 号により浸水した関西国際空港における災害復旧支援活動 ((株)藤平組・(株)谷川組・(有)小阪組・(株)中井組)

平成 30 年 9 月 4 日、台風 21 号の影響で、関西国際空港は大きな浸水被害を受けた。

和歌山県の(株)藤平組・(株)谷川組・(有)小阪組・(株)中井組は、近畿地方整備局からの要請で緊急出動し、6 日早朝から 10 日までの間、第 1 ターミナル、A 滑走路、B 共同溝、J R・南海掘割、第 3 国際貨物ビル等の排水作業を行った。

空港構内の複雑さに加え、停電や強風のため作業は難航したが、特に共同溝の排水では各社のポンプを直列に繋いで流量を常時管理するなど、各社の協力と徹底した安全管理により、無事作業を完了することができた。

この支援活動に対し、平成 31 年 1 月、近畿地方整備局より各社に感謝状が贈られた。



共同溝・滑走路周辺の排水

(2) 地域活性化への取組

事例 B2-01：島根県

スポーツイベント等を通じた健康増進・青少年健全育成活動（(株)トガノ建設）

(株)トガノ建設は、地域住民の健康増進と青少年の健全育成を図るため、長年に亘って各種のスポーツイベントを開催している。

同社の創業者は、昭和 63 年に「建設業関係功労者表彰」の大臣表彰を受章したことをきっかけに、自らが関わっていたバレーボール競技を通して地域に恩返しをしたいと考え、平成元年より 25 年間、「出雲地区家庭婦人バレーボール大会」を主催してきた。

平成 26 年（創業 60 年）には、バレーボールの実業団チームを招き、家庭婦人・高校生・市内中学生を対象とした強化指導会を開催した。また、同年周年事業の一環として、サッカーのクラブチーム「ガイナレ鳥取」の試合に地元のスポーツ少年団を招き、プロの試合観戦と実技指導を行った。

バレーボール大会は平成 25 年の第 25 回大会を最後とし、その後は出雲地区の小中学生を対象とした「ジュニアゴルフ教室」へと移行した。ゴルフ教室では、地元在住のプロゴルファーによる実技指導とともに、親子ペアでコースを回る競技の部では、島根県ゴルフ協会ジュニア育成委員によるマナー指導も行っている。

同社は、こうしたスポーツイベントによって、地元の青少年がスポーツマンシップを身に付け、将来、建設業はもとより各方面で活躍してほしいと願っている。



バレーボール大会案内



バレーボール指導会案内



ジュニアゴルフ教室案内



ジュニアゴルフ教室でのプロによる実技指導

(3) 環境美化・保全活動

事例 B3-01：青森県

道路・河川の清掃美化活動（(株)田中組）

(株)田中組では、平成 21 年より毎年 2 回、職員による国道 102 号と稲生川幹線用水路の清掃美化活動を実施している。

国道 102 号は、十和田市から奥入瀬溪流、十和田湖へと向かう主要ルートで、観光立県を目指す青森にとって重要な幹線道路である。また、稲生川幹線用水路は、新渡戸稲造の祖父・傳（つとむ）と父・十次郎によって、農業用水として開拓された人工河川で、農林水産省の疏水百選にも選定されている。

同社は、こうした地元の財産を守る活動を通じて、今後も地域に貢献したいとしている。



稲生川用水路の清掃（4月・11月）

事例 B3-02：宮城県

道路の清掃美化活動（河北建設(株)）

河北建設(株)は、本社が所在する仙台市太白区泉崎 2 丁目の道路清掃を毎月実施するとともに、西町子供会に資源ごみ回収場所を提供するなど、長年にわたり地域の清掃美化活動に力を入れている。

また、子どもたちが日本古来の風習や文化に触れる機会として、毎年、子供会と父兄を招待して餅つき大会を開催している。

同社は、建設業の特性を活かして、こうした活動を継続することで、地域の美化とコミュニケーションの維持を図りたいと考えている。



本社周辺の道路清掃



子供会を招いた餅つき大会

事例 B3-03 : 福島県

道路・河川の清掃美化活動（矢祭建設(株)）

矢祭建設(株)では、平成13年にISOを取得したことをきっかけに、毎年5月下旬～6月上旬、矢祭町内の国道118号と主要な県道、町道及び八溝川、矢祭川等の河川の清掃美化活動を実施している。

同社は、この活動を地域の多くの人々に知ってもらい、自然を守ることの大切さとともに建設業の重要性を少しでも理解して、身近に感じてもらえるよう、今後も継続していきたいとしている。



町道真木野苺荷線の路肩清掃



矢祭川の清掃

事例 B3-04 : 三重県

河川の清掃美化活動（丸亀産業(株)）

丸亀産業(株)は、「地球にいいことしよう!!」を合言葉に、環境ボランティア団体「高町をきれいにする会」を結成し、毎年6月と9月、本社近くの愛宕川堤防及び周辺の清掃美化活動を行っている。

この活動は、地域社会への貢献を図るとともに、社員一人ひとりの環境への配慮意識を高揚させることを目的としており、同様の主旨で、毎朝、業務開始前には、本社周辺道路の歩道等の清掃も行っている。

同社は、地域の人々とともに歩んできた建設業のノウハウを活かして、今後も自然環境の保護、スポーツや文化行事の支援など、さまざまな分野の社会活動に積極的に取り組んでいきたいとしている。



愛宕川堤防及び周辺の清掃

(4) 社会福祉活動

事例 B4-01 : 北海道

日本赤十字社献血活動への協力 ((株)田中組)

(株)田中組は、社会貢献活動の一環として、昭和 63 年より毎年 4 月、北海道赤十字血液センターの献血バスを貸し切り、札幌市の社屋前で献血を実施している。

10 年程前からは近隣住民も参加するようになり、平成 30 年度は、同社役職員と近隣住民合わせて 50 人余りが献血に協力した。これまでの献血者数は延べ 1,000 人以上となっており、平成 28 年には、献血推進団体として日本赤十字社「銀色有功章」表彰を受けている。

同社は、地域に根差した企業として、この活動を地域のコミュニケーションの場としても活用したいと考えている。



役職員による献血

事例 B4-02 : 福島県

日本赤十字社献血活動への協力 (川名建設工業(株))

川名建設工業(株)は、平成元年度より毎年、日本赤十字社献血活動に協力している。

平成 30 年度は、9 月 10 日、本宮市の同社駐車場にて、社員と協力企業従業員など 40 人が献血に協力した。

また、平成 19 年度からは年 2 回、本社周辺道路や近隣市町村道、遊歩道などで、清掃活動を実施している。平成 30 年度は、5 月 22 日に約 30 人、9 月 25 日に約 20 人が参加した。本社周辺はもとより、福島市、二本松市など 7ヶ所で、ゴミ拾いや草刈りを行った。

同社は、こうしたボランティア活動に、今後も積極的に取り組みたいとしている。



駐車場の献血バス



国道 459 号沿いの草刈り・清掃

事例 B4-03 : 福島県

地元小学校の清掃・点検及び奨学資金給与基金への寄付活動（王子建設(株)）

王子建設(株)は、平成 21 年度より毎年 3 月、地元の郡山市立大島小学校において、父母と教師の会と共同で、校舎や体育館の清掃・点検作業を行っている。特に、高所作業となる照明器具の点検や、体育館 2 階ギャラリー等のガラス拭きは、同社が率先して引き受けている。

また、平成 26 年度からは、経済的理由で修学が困難な高校生を支援するため、郡山市の「篤志奨学資金給与基金」への寄付を毎年継続している。

同社は、「安全最優先で、社会に貢献し、喜ばれて喜ぶ」の行動指針のもと、こうした活動は責務であると考え、今後も続けていくとしている。



小学校玄関の照明器具点検



郡山市「篤志奨学資金給与基金」への寄付

事例 B4-04 : 長崎県

日本赤十字社献血活動への協力（吉川建設(株)）

吉川建設(株)は、平成 22 年度より毎年、日本赤十字社献血活動に協力している。

この活動は、近隣住民にも認知されつつあり、近年は毎回 80 人近くが参加している。平成 30 年度は、6 月 13 日、諫早市の同社プラント事業部にて、75 人が献血に協力した。

平成 29 年 7 月には、その功績に対して日本赤十字社長崎県支部より感謝状が贈られた。

また同社は、道路アダプト活動の一環として、平成 21 年より毎年 4 回、約 40 人が参加して、主に本社周辺と県道 41 号の 1.5km の区間で、歩道の除草及び清掃を行っている。

同社は、地域に親しまれる企業を目指して、こうした活動を強化したいと考えている。



献血活動



歩道の除草・清掃

(5) 建設業ふれあい活動

事例 B5-01：福島県

保育園で園児らとともに行う花植え活動（久米工業(株)）

久米工業(株)は、子どもたちに自然の大切さを学んでもらおうと、第一緑化工業(株)と合同で、平成23年より毎年、南会津町の保育園で、園児らとともに花植えを行っている。

これは、保育園に花の苗と腐葉土、プランターを提供し、園児たちに花の植え方、育て方を説明しながら、一緒に花植え作業を行う活動で、今では春の恒例行事として、園児たちも心待ちにしている。平成30年度は、5月23日、田島保育園、びわのかげ保育所、田部原保育所を訪れ、ベゴニア、マリーゴールドなど325株の花植えを行った。

同社は、このふれあい活動が、業界のイメージアップにも繋がることを期待している。



花の植え方説明（田島保育園）



花植え（びわのかげ・田部原保育所）

事例 B5-02：静岡県

親子現場見学会の開催（平和建設(株)）

平和建設(株)は、平成30年1月、静岡県富士土木事務所と協力して、建設中の川坂沢砂防堰堤において、親子現場見学会「砂防堰堤（えんてい）ってなんだろう？」を開催した。

見学会には自治会や近隣住民の親子約50人が参加し、同社職員の案内で水叩き（水の落ちる部分）に下りて、砂防堰堤（ダム）の役割や構造について説明を受けた。また、トータルステーションによる計測体験、小型ショベルカーの操作体験を行った。

会場には、クイズラリーやパネル展示を設けて、急峻な地形が多い静岡県では、砂防ダムなどの土砂災害対策が欠かせないことを解説した。

同社では、こうした活動を継続することで、近隣住民に土砂災害対策の重要性を理解してもらい、同時に、砂防堰堤工事のイメージアップも図りたいと考えている。



現場見学会の記事（出典：富士ニュース）

事例 B5-03 : 愛知県

「かにえ町民まつり」での建設機械試乗体験の実施（株）加藤建設

（株）加藤建設は、平成 24 年より、地元の愛知県蟹江町で 10 月に開催される「かにえ町民まつり」に毎年参加し、建設業ならではの企画で町民を楽しませている。

この祭りは、蟹江町の町民、企業、団体、行政等が一体となって構成・演出し、子どもからお年寄りまで、たくさんの町民が参加する一大交流イベントである。

同社の企画の中で特に人気があるのは、高所作業車による建設機械の試乗体験で、ヘルメットと安全帯を着用して、10mを超える高さまで上がる体験は、遊園地のアトラクション並みの人気ぶりで、リピーターも多く、乗車待ちの列は途切れることなく、2 日間で 700 人以上の参加者を数えた。

同社では、地域の人たちに喜んでもらえて、多くの笑顔に触れることができるこの祭りへの参加を、今後も永く続けていきたいとしている。



高所作業車の試乗体験



子どもたちと参加スタッフ

(6) 建設業のイメージアップ・広報活動

事例 B6-01：北海道

道路の大切さを伝える絵本「こうたのあたらしいちず」の制作・贈呈（道路工業(株)）

道路工業(株)は、平成27年より毎年、札幌市内の児童会館に絵本を寄贈しており、平成30年には、市内すべての児童会館（104館）とミニ児童会館（94館）への寄贈が完了した。各児童会館では、絵本贈呈式が行われ、子どもたちの楽しいダンスや歌で歓迎された。

寄贈した絵本の総数は1,045冊となり、当初の目標であった1,000冊に到達した。

また同社は、平成31年の設立70周年・創業95周年記念事業として、子どもたちに道路の大切さを伝えるオリジナル絵本「こうたのあたらしいちず」を制作し、同年2月、北海道に150冊、札幌市に300冊を贈呈した。

この絵本は、地図を描くのが好きな子熊の“こうた”の道の探検物語で、災害で通れなくなった道路を、建設業の力で復旧している様子を見て感激する内容となっている。

北海道では、近年自然災害が多発しているが、災害があっても明るい未来に向かって復旧できることを子どもたちに知ってもらいたいとの思いを込めて、絵本作家と制作会社を交えた社内プロジェクト委員会で制作を進めた。同社は、豊かな心を育む絵本の寄贈を、今後も継続したいとしている。



絵本制作プロジェクトの打合せ



絵本「こうたのあたらしいちず」（一部）



北海道への贈呈



「げんきキッズフェス」にて札幌市への贈呈

事例 B6-02 : 青森県

高校生を対象とした現場見学会の開催（附田建設（株））

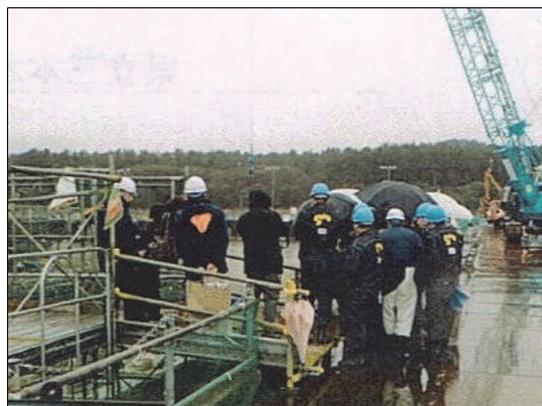
附田建設（株）は、平成 23 年の東日本大震災をきっかけに、将来を担う若者に建設業の役割と重要性を伝えることが重要と考え、高校生を対象とした現場見学会の開催を始めた。

5 回目となる平成 30 年度は、11 月 22 日、県立三本木農業高等学校環境土木科の 1・2 年生 70 人を招いて、六ヶ所村のケーソン製作現場の見学会を行った。生徒からは、ケーソンが出来上がってからの浮上、えい航、据付けなどに関して活発な質問があり、終了後のアンケートでは、「将来の就職活動の参考になった」との回答が 60%を占めた。

同社は、今後も多様な現場で見学会を開催し、建設業の役割を伝えたいと考えている。



工事概要説明



ケーソンヤードの見学

事例 B6-04 : 愛知県

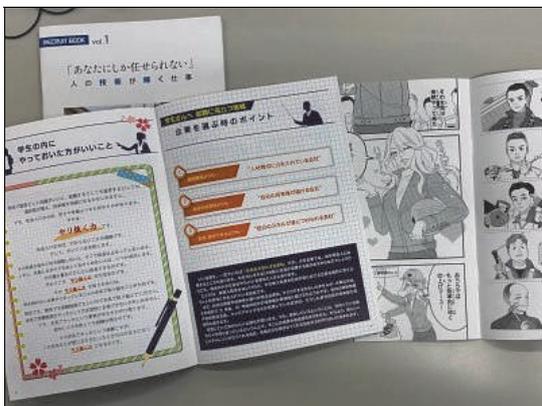
小冊子の制作と現場見学会等の開催（矢作建設工業（株））

矢作建設工業（株）では、建設業の内容を正しく理解してその魅力を知ってもらおうと、小冊子の制作・配布、出前授業、現場見学会等の開催に積極的に取り組んでいる。

小冊子は、協力会の職人募集のための「リクルートブック」、建設業の魅力を描いたマンガ「モノづくりにかける思い」を地元の中学・高校で配布したほか、現場でのコミュニケーションやメンタルフォローについて説明した「新人本」を若手職人に配布した。

また、ハローワークと連携した転職希望者・女性職人希望者向けの現場見学会、NPO 法人と連携した出前授業やインターンシップなども、数多く開催している。

同社は、建設業への入職者の増加を目指して、こうした活動を継続したいとしている。



「リクルートブック」などの小冊子



女性職人希望者向け現場見学会